解説

中学校 3 年音楽科 クラスオリジナルの連作交響詩

「わが祖国」日本版をつくりあげよう

授業者：附属中学校教諭 向田瑞貴

解説タイトル：オリジナルの連作交響詩から生まれる

「問題解決力」

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授

下島泰子

本授業はスメタナ作曲、連作交響詩「わが祖国」の一部を学習した後にその中の旋律を変形させ、独自の曲を作成しようという試みである。「創造的思考力」の育成が強調されているが、グループで話し合って作成し、それぞれの作品をどのようにまとめるかを考え、演奏し、最後に一連の取組みを振り返るというように複数のコンピテンシーの育成が見込める授業である。交響詩の標題はそれぞれ独自のものであり、作成された曲の中には、日本を代表する司会者の黒柳徹子を標題とした曲があった。黒柳氏の人物像を調べ、曲に反映させた。

本授業で育成が期待されるコンピテンシーである「創造的思考力」は楽器のみならず、Garage Band などの音楽制作アプリや、楽譜共同編集ソフト Flat などを駆使し、テーマを自由に設定した上での作曲活動から育成される。作曲段階から演奏まで、グループ活動の幅が広がり「協働力」の育成が見込まれる。一連の作曲活動を振り返ることで「省察的思考力」が生まれる。生徒同士の理解のみならず、テーマとする標題の理解を深めることから「他者理解力」の育成が見込まれる。教科内容を踏まえた上での「問題解決力」の育成となっている。